

4

Windows2000 環境での設定

ご使用の環境が Windows2000 の場合は、以下の手順に従って、本製品の設定をおこなってください。

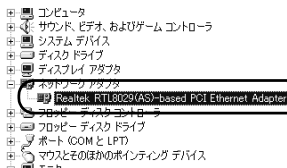
ドライバのインストール

本製品を Windows2000 でお使いの場合は、ドライバのインストールは自動的におこなわれます。以下の手順で、本製品の取り付けおよび正常にドライバがインストールされたか確認をおこなってください。

注意 パソコンの電源を ON する前に、本製品がパソコンに正しく取り付けられているか確認してください。

メモ Windows2000 の ACPI 機能 には対応していません。
OS によって直接電源を管理をする機能

- 1 Windows2000 を起動して、アドミニストレータ権限を持ったログイン名(Administrator 等)でログインします。
本製品が自動的に認識され、ドライバがインストールされます。
- 2 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] を選択します。
- 3 [システム] アイコンをダブルクリックします。
- 4 [ハードウェア] タブをクリックして、[デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。
- 5 「ネットワークアダプタ」に「Realtek RTL8029(AS)-based PCI Ethernet Adapter」が表示されていることを確認してください。



次頁へ続く

4

Windows2000 環境での設定

以上で本製品のインストールは完了です。

▶次へ 「伝送モードの設定」(P40)へ進みます。

伝送モードの設定

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。
- 2 「システム」アイコンをダブルクリックします。
- 3 「システムのプロパティ」画面が表示されたら、「ハードウェア」タブをクリックします。
- 4 [デバイスマネージャ]をクリックします。
- 5 「ネットワークアダプタ」の下にある「Realtek RTL8029(AS)-based PCI Ethernet Adapter」を選択し、[プロパティ]をクリックします。
- 6 「Realtek RTL8029(AS)-based PCI Ethernet Adapter」のプロパティ画面で「詳細設定」タブをクリックします。
- 7 「プロパティ」欄の「Line Speed」を選択して、「値」欄で設定する伝送モードを選択します。



メモ 「TP Full Duplex」(全二重)に設定した場合は、自動認識したハブと接続しても通信できません。この場合は、必ず接続するハブの伝送モードを手動で「全二重」に設定してください。

設定できる伝送モードは次の通りです。

TP Half Duplex	10Mbps 半二重 (出荷時設定)
TP Full Duplex	10Mbps 全二重

注意 「AU1/10Base5」および「BNC/10Base2」に変更しないでください。

8 [OK] をクリックします。
伝送モードが設定されます。

5

困ったときは

本製品を使用して発生する現象とその原因、対策方法について説明します。

本製品がパソコンに認識されません。

原因

本製品がパソコンの PCI バススロットに確実に差し込まれていない。

対策

本製品を取り付け直してください。

原因

パソコンの PCI バススロットが故障している。

対策

- ・本製品を他の PCI バススロットに差し込んでください。
- ・他にパソコンをお持ちの場合は、他のパソコンの PCI バススロットに差し込んで PCI バススロットが故障していないか確認してください。

ドライバに!マークがついている

「MELCO LC12-T Ethernet Adapter」に!マークがついている。

原因

- ・ドライバのインストールに失敗している。
- ・リソースが競合している。

対策

「インストール画面が表示されない。」(P43) を参照してください。

インストール画面が表示されない。

Windows98/95 環境で、本製品を装着後にパソコンを起動しても、ドライバのインストール画面が自動的に起動しない。

原因

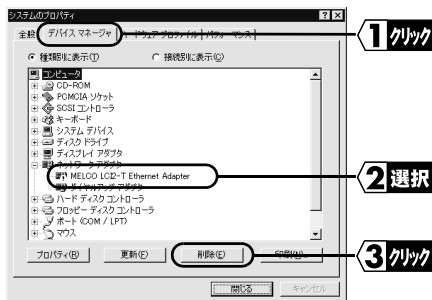
ドライバのインストールに失敗している。

対策

次の手順に従って、ドライバを削除し、再度ドライバのインストールを行なってください。

注意 作業の前に、パソコンに本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。
- 2 [コントロールパネル] 内の [システム] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [デバイスマネージャ] タブをクリックします。
[ネットワークアダプタ] の中の「MELCO LC12-T Ethernet Adapter」、または「Realtek RTL8029 Ethernet Adapter and Compatibles」を選択し、[削除] をクリックします。



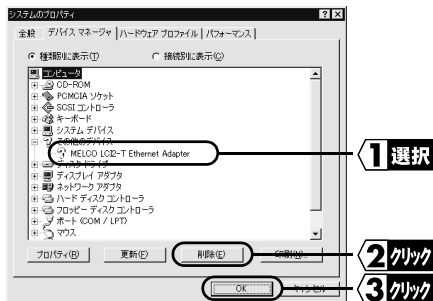
次頁へ続く

5

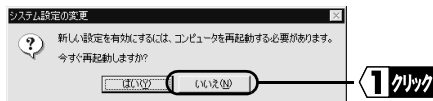
困ったときは

▶ [?その他のデバイス]の中に以下のデバイス名が表示されているときがあります。その場合は、そのデバイス名を選択し、[削除]をクリックした後[OK]をクリックします。

- MELCO LC12-T Ethernet Adapter
- PCI Ethernet Controller
- Realtek RTL8029 Ethernet Adapter and Compatibles



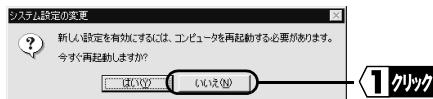
4 「今すぐ再起動しますか?」と表示されますので、[いいえ]をクリックします。



5 コントロールパネル内の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、「MELCO LC12-T Ethernet Adapter」が表示されている場合は、削除してください。

6 [OK] をクリックします。

メモ 「今すぐ再起動しますか?」と表示された場合は、「いいえ」をクリックしてください。

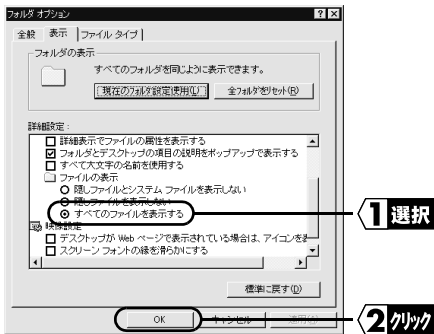


メモ Windows95をお使いのかたは、手順 7 ~ 10を行う必要はありません。

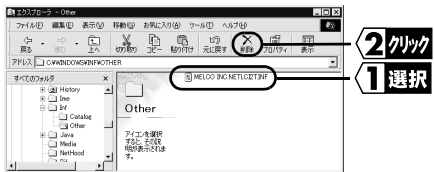
7 [スタート]-[プログラム]-[エクスプローラ]を選択します。

8 [表示]-[フォルダオプション]を選択して、「表示」タブをクリックします。

9 「すべてのファイルを表示する」を選択して、[OK]をクリックします。



10 「C:\Windows\INF\OTHER\MELCO INC.NETLC12T.INF」を選択し、[削除]をクリックします。



11 Windows98/95を終了させ、パソコンの電源スイッチをOFFにします。
「ドライバのインストール」(P14)を参照して、ドライバを再インストールしてく
ださい。

次へ 「ドライバのインストール」(P14)へ進みます。

5

困ったときは

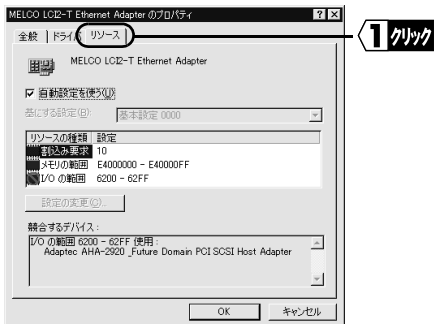
原因

他のデバイスが本製品と同じ I/O の範囲、メモリの範囲を使用している。
(リソースの競合)

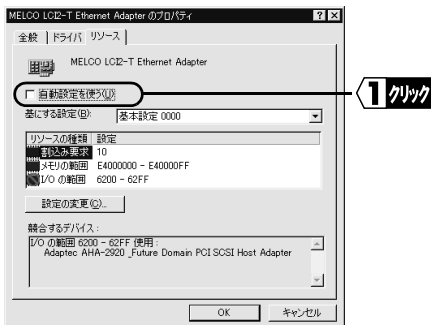
対策

次の手順に従って設定を行ってください。

- 1 [リソース] タブをクリックし、競合しているリソースを確認します。



- 2 [自動設定を使う](Windows95 の場合は「自動設定」)のチェックボックスをクリックし、チェックマークを消します。

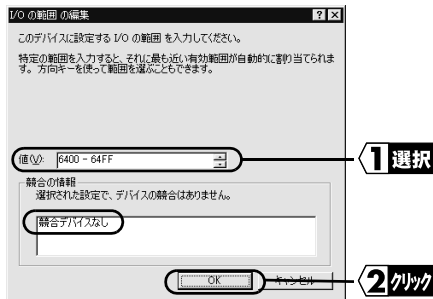


3 [競合するデバイス] のメッセージを参考にして変更するリソースを選択します。(例:「I/Oの範囲」が競合しているとき)

4 「I/Oの範囲」(または「メモリの範囲」)を選択し、[設定の変更]をクリックします。



5 [競合の情報] に「競合デバイスなし」と表示されるように [値] 欄の設定値を適当に変更し、[OK] をクリックします。



5

困ったときは

次頁へ続く

6 [競合するデバイス] に「競合はありません。」と表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。



次へ 「インストール後の確認」(P26) へ進みます。

原因

他のデバイスと割り込み (IRQ) が競合している。または、割り込み (IRQ) の空きが不足している。

対策

いったん本製品を取り外し、割り込み (IRQ) を確保してから取り付けてください。割り込み (IRQ) の確保は次のいずれかの方法で行います。パソコン本体のマニュアルも必ず参照してください。

- 使用していないパソコン本体の機能 (シリアルポートなど) を無効にする。一般的にシリアルポートは BIOS で無効にします。
- 他の拡張ボードの割り込みを変更する。
- 使用していない拡張ボードを取り外す。
- DOS/V 機、PC98-NX シリーズの場合は、パソコンの BIOS で割り込みを固定に設定する。(ただし、BIOS で割り込みを設定できない機種を除く)
本製品が使用する割り込み (IRQ) は、パソコンから自動的に割り当てられますので、Windows 上からは手動で変更できません。

パソコンのメーカーが BIOS のアップデートサービスを行っている場合は、新しい BIOS にアップデートすることで、トラブルが解消されることがあります。詳しくはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

OS を変更したらネットワークに接続できなくなった

今まで Windows98/95 で正常に動作していたが、OS を WindowsNT4.0 に変更したところ、ネットワークにつながらなくなった。

原因

WindowsNT4.0 は Plug&Play に対応していないため、従来の設定ではボードが認識されなくなることがあります。

対策

パソコン本体の BIOS で Plug&Play の設定を「No」にしてください。詳細についてはパソコンのマニュアルを参照してください。

他のコンピュータが表示されません。

「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリックしても、他のコンピュータが表示されません。また「MELCO LC12-T Ethernet Adapter」に!マークがついている。

原因

Windows98/95 を起動したときにパスワードを入力していない。
(ユーザー名 / パスワードの入力画面で [キャンセル] ボタンをクリックしたり、<Esc> キーを押している。)

対策

Windows98/95 を起動したときに要求されるユーザー名 / パスワードの入力画面では、必ず入力して [OK] ボタンをクリックしてください。万が一、パスワードを忘れてしまったときは、別のユーザー名を入力してください。ユーザー名とパスワードがコンピュータに登録されます。

次頁へ続く

5

困ったときは

原因

本製品のドライバのインストールに失敗している。

対策

ドライバが正常にインストールされているか確認してください。

Windows98/95 の場合：

「インストール後の確認」(P26) を参照してください。

原因

ネットワークを検索して、接続されているコンピュータが表示されるのに時間がかかっている。

対策

以下の手順でコンピュータの検索をしてください。

1. [スタート]-[検索]-[ほかのコンピュータ] を選択します。
2. 「名前」に、接続先のコンピュータ名を入力して、[検索開始] をクリックします。



3. 検索されたコンピュータのアイコンをダブルクリックして、接続してください。



原因

ワークグループの設定が間違っている。

対策

ワークグループの設定を確認してください。

原因

ネットワークの設定が正常にできていない。

対策

プロトコル、ワークグループ名や共有設定の確認を行ってください。

Windows98/95 の場合：

「ネットワークの設定例」(P30) を参照してください。

原因

- ・ストレートケーブルが LAN ボード側・ハブ側ともにしっかり接続されていない。
- ・ストレートケーブルが切断している。

対策

- ・「カチッ」というまで、しっかり接続してください。
- ・別のストレートケーブルで接続してください。
- ・ハブとケーブルに問題があるのかもしれません。他のパソコンで正常に LAN 接続しているハブとケーブルを使用してみてください。

Windows 終了時にパソコンが止まってしまうときは

LAN ボードや LAN カードを取りつくと Windows 終了時にパソコンが止まってしまうことがあります。本製品を取りつけてこのような現象が発生した場合は、お使いのパソコンの環境に応じて、以下の対策を行ってください。

Windows98 Second Edition 使用時の対策方法

対策

Windows98 Second Edition のアップデートモジュール (Windows98 Second Edition シャットダウン問題の修正) を使用してください。アップデートモジュールは、マイクロソフト社のホームページ (Windows Update) よりダウンロードできます。

対策

Windows を終了する前に、「MS-DOS プロンプト」を起動してコマンドを入力してください。

以下の手順で行ってください。

1. [スタート]-[プログラム]-[MS-DOS プロンプト] の順に選択します。
2. MS-DOS プロンプトが起動したら、「NET USE */DEL」と入力し <Enter> キーを押します。
3. 「コマンドは正常に完了しました」と表示されたら、MS-DOS プロンプトを終了します。
4. Windows を終了します。

▲注意 この設定は、Windows を終了するごとに行う必要があります。

Internet Explorer Ver.4.01 使用時の対策方法

対策

Internet Explorer Ver.4.01 のサービスパック 1 以降を使用してください。サービスパックは、マイクロソフト社のホームページ (Windows Update) よりダウンロードできます。

ハードウェアの設定変更による対策方法

対策


パソコンの電源を OFF にして、本製品を取り付ける PCI スロットの位置を変更してください。

▲注意 取り付け位置を変更した後は、ドライバを再度インストールする必要があります。マニュアルの手順に従ってインストールしてください。

対策

本製品のリソースの設定を変更してください。リソースの設定の変更方法は、本製品のマニュアルを参照してください。

【困ったときは「インストール画面が表示されない。」(P43) の対策、対策を参照】

 **メモ** パソコン本体のマニュアルもあわせて参照してください。

本製品が正常に動作しない。

原因

ご使用のパソコンのパワーマネージメント機能が動作している。

対策

パワーマネージメント機能の設定を OFF にしてください。
詳細については、パソコンのマニュアルを参照してください。

6

用語集

本書で使われている用語の内、ネットワークを構成する上で必要となる用語について説明します。

I/O ポートアドレス (Input/Output)

CPU と周辺機器との間には、情報をやりとりする出入り口があります。どの周辺装置がどの出入り口を使うかを区別するために、各装置に割り当てられる番号が I/O ポートアドレスです。

IRQ(割り込み要求 : Interrupt Request)

パソコンの周辺機器が要求する処理は全て CPU が行いますが、CPU はどの機器からいつ要求が来るかを予想できません。CPU が常に全ての機器を監視していると、処理時間より監視時間のほうが長くなり、非効率的です。そこで、各周辺機器から、CPU に対して実行してほしいことが発生した場合に、IRQ の番号を使用して、現在 CPU が行っている処理に「割り込み」と「要求」をします。CPU は、どの装置から要求が来たかを IRQ 番号より判断し処理を行います。割り込み要求の処理が終わると、CPU は通常の処理に戻ります。

LAN(Local Area Network)

「ラン」と発音する。1つの建物の中やキャンパスの敷地内など比較的狭い地域でのネットワークです。10Mbps ~ 100Mbps の伝送速度が一般的です。

MAC アドレス (Media Access Control Address)

ネットワークカードごとの固有の物理アドレスです。

MAC アドレスは、先頭からの 3bytes のベンダコードと残り 3bytes のユーザコードの 6bytes で構成されます。

ベンダコードは、IEEE が管理 / 割り当てを行っており、ユーザコードは、ネットワークカードの製造メーカが独自の番号（重複はしない）で管理を行っています。つまり、MAC アドレスは、世界中で単一の物理アドレスが割り当てられています。Ethernet ではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行います。

Microsoft ネットワーククライアント

Windows98/95/NT4.0 などのサーバサービスを利用するためのクライアントソフトウェア。通常プロトコルには、「NetBEUI」が使用されます。

NetBEUI プロトコル

小規模から中規模の LAN 用のネットワークトランスポートプロトコルです。NetBEUI は、OSI プロトコルモデルのトランスポートおよびネットワーク層プロトコルに相当する。これを NetBIOS と統合することにより、ワークグループ LAN 環境で効率的な通信システムが実現される。Windows98/95/NT4.0 などで、サポートされています。

Peer to Peer 接続

パソコンが、LAN や WAN を介して互いに対等な関係で行う通信です。サーバ・クライアントシステムとは異なり、ネットワーク上のいずれのパソコンも他のユーザにその資源を利用可能にすることができます。

Windows98/95 のユーザー名とパスワード

ドライバのインストールが完了し、パソコンを再起動すると、『ネットワークの起動の入力』ダイアログボックスが表示されます。

- ・ ネットワークを使用するときは、ユーザー名とパスワードを入力してください。ただし、ネットワークを使用しないときは入力する必要はありません。
- ・ ユーザー名とパスワードは、Windows98/95 をセットアップする過程で設定しています。初めてログインするときは、セットアップ時のユーザー名とパスワードを入力してください。(マルチユーザーで複数の環境を切り替えてパソコンを使用できるようになっています。よって、新たにユーザー名とパスワードを入力することにより、ログインできます。)

Windows98/95 の共有設定画面

共有したいドライブのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、メニューから「共有」を選択すると、次の画面が表示されます。



画面内の説明は、次の通りです。

- 共有しない：** ドライブの共有を解除するときに選択します。
- 共有する：** ドライブを共有するときに選択します。
- 共有名：** 共有するドライブの名称を変更できます。
- アクセスの種類：** 共有するドライブに対しての読み書きを許可します。
- 読み取り専用：** 共有するドライブを読み込み専用にします。
- フルアクセス：** 共有するドライブに読み書きを許可します。
- パスワードで区別：** パスワードにより、読み書きを許可します。
- パスワード：** 「アクセスの種類」に対するパスワードです。
- 読み取り専用：** 読み取りを許可するときのパスワードを設定します。
- フルアクセス：** 読み書きを許可するときのパスワードを設定します。

Windows98 の識別情報 (Windows95 の場合はユーザー情報) 画面

表示される画面

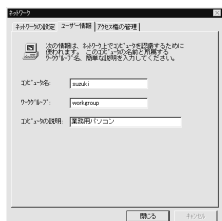
Windows98 の場合

「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして、「識別情報」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。



Windows95 の場合

「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして、「ユーザー情報」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。



画面内の説明

画面内の説明は、次の通りです。

コンピュータ名: ネットワーク上で、コンピュータを識別するための名称です。各パソコン毎に固有の名称を設定します。

ワークグループ: ネットワーク上で、区別をするための名称です。特に分ける必要がなければ、ネットワーク内のパソコンは、全て同一の名称にしてください。

コンピュータの説明: 「コンピュータ名」の補足説明です。特に入力しなくても構いません。

メモ [コンピュータ名]、[ワークグループ]には、半角英数字を入力することを推奨します。

注意 一部の漢字やピリオド(.)などの特殊文字が含まれているとネットワークに接続できない場合があります。

クライアント

サービスの提供を受ける側のことです。サーバにある情報やサービスを利用することができます。

プロトコル

ネットワーク端末間でデータの受け渡しを行うための手順や規則です。

例えば、2つのコンピュータが通信を行う場合に、どちらが先にどのようなメッセージを送信するか、また、そのメッセージを受けてどのようなメッセージを返すか、データの形式はどうなっているか、通信エラーの対応など、通信を行う上で必要な条件をすべて手順化しておくことで、規則正しい情報の伝達を行うことができます。

リソース (システムリソース)

パソコンの各周辺装置 (マウス、キ - ボードなど) や、LAN ボード、LAN カードなどに割り当てられている IRQ、I/O ポートアドレスを総称した名称です。

7 付録

本製品の仕様とモジュラコネクタ仕様について説明します。

製品仕様

LAN インターフェイス	規格	IEEE802.3 準拠
	伝送速度	10Mbps
	伝送路 符号化方式	マンチェスターコーディング
	アクセス方式	CSMA/CD
	転送方式	I/O 転送方式
リソース	I/O ポート アドレス	PCI BIOS による割り当て
	割り込み	PCI BIOS による割り当て
消費電流		45mA(MAX) / +5V
動作環境	動作温度	0 ~ 55
	動作湿度	20 ~ 80% (但し、結露なきこと)
外形寸法		120(W)mm × 46(H)mm

メモ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ (<http://www.melcoinc.co.jp/>) を参照してください。

7

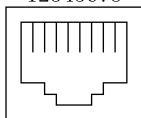
付
録

モジュラコネクタ仕様

ISO/IEC8877:1992 で規定された RJ-45 型 8 極コネクタを使用しています。

MDI 信号の割り当て

12345678



ピン番号	MDI 信号	信号機能
1	TD+	送信データ (+)
2	TD-	送信データ (-)
3	RD+	受信データ (+)
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	RD-	受信データ (-)
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用

保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとしてご登録いたします。

本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方であれば受けられます。

ユーザー登録後に製品を譲渡した場合でも、ユーザー登録は変更できません。

修理について

故障と思われる症状が発生したときは、まずマニュアルを参照して設定や接続が正しいか確認してください。改善されない場合は、次の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付し、弊社修理センター宛に製品を直接お送りください。

ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは、承っておりません。

宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。

送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。

ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスクはフォーマットいたします。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。

修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

製品送付先：〒456-0023 名古屋市熱田区六野二丁目1-3中京倉庫内33号6階
株式会社メルコ 修理センター宛
TEL:052-889-2104

チェック項目： 返送先 [氏名 / 住所 / 電話番号 (内線) / FAX 番号]
平日昼間の連絡先 [氏名 / 住所 / 電話番号 (内線) / FAX 番号]
修理対象のメルコ製品名
弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
具体的な症状 / エラーメッセージ
発生状況 [始めから / ある日突然 / 環境を変えたら]
発生頻度 [必ず / 頻繁 / 時々 / 時間が経つと、他]
コンピュータ [本体メーカー名 / 型番 / シリアルナンバー]
ハードディスク [メーカー名 / 型番 / シリアルナンバー]
プリンタ [メーカー名 / 型番 / シリアルナンバー]
その他周辺機器 [メーカー名 / 型番 / シリアルナンバー]
OS(オペレーティング・システム) [ソフト名 / メーカー名 / バージョン]
アプリケーション / バージョン [症状に依存性のある場合は詳細も]
製品以外の添付品 [付属ソフトなど]

弊社製品の情報は次の方法で入手できます



インター
ネット

<http://www.melcoinc.co.jp/>

(ミラーサーバ <http://www.melcoinc.com/>)



@nifty

MELCO Station < GO SMELCO >



製品
サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520 名古屋市南区柴田本通 4-15 株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ネットワーク製品専用ダイヤル

< 東京 > 03-5350-7870

< 名古屋 > 052-619-1825

月～金 9:30～12:00/13:00～17:00 祝日を除く

事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。

- ・コンピュータ名と使用 OS
- ・設定内容 (スイッチ設定など)
- ・本製品の製品名とシリアルナンバー
- ・現象 (具体的なエラーメッセージなど)

メルコパソコン教室

「DOS/V パソコン組み立て体験教室」などを主催する株式会社メルコテクノスクールでは、ネットワーク関連の各種研修も実施しております。出張社員研修なども実施しておりますので、お気軽にご相談ください。

- ・インターネット接続設定教室
- ・小規模 LAN 構築実践体験教室
- ・LAN ケーブリング実践体験教室
- ・LAN/WAN 構築実践体験教室
- ・光ファイバケーブルブリッジ実践体験教室

このほかにも、随時新規カリキュラムを開講中です。お申し込み、お問い合わせは、以下へお願いします。

TEL: 052-251-7911 FAX: 052-249-2460

パソコン教室に関する最新情報は、次の方法でも入手することができます。

- ・インターネット <http://www.melcoinc.co.jp/>
(ミラーサーバ <http://www.melcoinc.com/>)
- ・@nifty MELCO Station <GO SMELCO>